

# 公益社団法人 日本天文学会 理事会議事録

日 時：2020年5月23日（土） 13時00分～17時00分

場 所：筑波大学筑波キャンパス(つくば市天王台)計算科学研究センター 会議室C  
(本理事会はCOVID-19感染拡大防止対策のためオンラインで開催された)

出席理事：梅村、田村（元）、寺田（馬場）、鈴木、伊王野、鹿野、早野、長瀧、松田、  
酒井、富田、田村（陽）、小出、久野、浅田、佐藤（文）、山村

出席監事：関井、大石

また、佐藤事務長、黒岩事務長補佐、田口谷事務長補佐が出席した。

なお、COVID-19感染拡大防止対策のため、梅村理事を除きオンライン参加である。

## I. 確認事項など

I-1. 議事に先立ち、出席者が17名で定足数を満たし、本会が成立することが確認された。

I-2. 前回議事録の確認

資料2-1、2-2に基づき、前回（2020年3月16日）の理事会議事録および2020年4月の電磁的決議の議事録が報告され、承認された。

## II. 報告

II-1. 日本天文学会2019年度監査報告（資料3、大石）

大石監事より、資料3の監査報告書にもとづき、事業報告書および財務諸表が適正に作成されていることが報告された。

## III. 議題

III-1. 日本天文学会2019年度事業報告書の承認（資料4、鈴木）

資料4にもとづき事業報告があった。ほぼ例年通りの活動であった。内地留学奨学金は名称変更があったことを注意書きとして付記することとした。賛成多数で承認された。

III-2. 日本天文学会2019年度決算書の承認（資料5、鹿野）

資料5にもとづき決算の報告があり、賛成多数で承認された。

III-3. 新規加入者および移籍（準→正）の承認（資料6、伊王野）

2020年3月5日～2020年5月15日までに正会員入会申請10名、準会員入会申請10名、移籍（準→正）1名の申請があり、賛成多数で承認された。

III-4. 会費納入期限の延期について（資料7、鹿野）

COVID-19の流行および感染防止のための様々な自粛の影響があり、会費の納入が滞ることが心配された。このことにより、2020年度のみの特例として、会長判断にて納期を2020年6月末まで延期した。また日本天文学会正会員（学生）に対しての2020年度会費の割引額適用期間を2020年6月末までとした。賛成多数で次の代議員総会に諮ることが承認された。

III-5. 学生会費の免除について(資料 8、鹿野)

COVID-19 の流行のため様々な経済的影響があり、特に学生は苦慮している状況であるため、日本天文学会正会員(学生)の2020年度会費を免除することが提案された。秋季年会がオンラインで開催されるため年会事業経費等が軽減することもあり、学生会員の会費免除による学会会計全体への影響は非常に小さいことが確認された。賛成多数で次の代議員総会に諮ることが承認された。

III-6. 天文学振興財団との協賛に関する覚書について(資料 9、梅村)

天文学振興財団が「古在由秀賞」ならびに「吉田庄一郎記念・ニコン天文学業績賞」を設立するにあたり、天文学会の協賛を求めており、覚書を取り交わすこととなった。両賞の選考委員に関しては、会長は自らの他に正会員より6名の選考委員を推薦することとし、当面は林忠四郎賞選考委員会委員を中心に推薦委員を選考することが提案された。賛成多数で承認された。

III-7. 天文教育普及選考委員の数の削減について(資料 10、鈴木)

天文教育普及選考委員を9名から6名に削減することが提案された。野田 学、福江 純、山岡 均の各氏が退任する。賛成多数で承認された。

III-8. 今後の年会開催地と開催地理事について(資料 10、鈴木)

今後の年会開催地と開催地理事が以下のように提案がされ、賛成多数で承認された。

2021 秋(京都産業大学+京都大学) 米原 厚憲

2022 春(広島大学+呉高専) 深沢 泰司

2022 秋(新潟大学) 西 亮一

2023 春(立教大学) 北本 俊二

III-9. 国内研修支援金選考委員会に内規の改正(資料 10、鈴木)

国内研修支援金選考委員会は選考の経緯と結果を代議員総会で報告する義務を負うこと、またこれを内規に追加することが提案され、賛成多数で承認された。

III-10. 早川幸男基金の内規の改正(資料 10、鈴木)

早川幸男基金選考委員会は選考の経緯と結果を代議員総会で報告する義務を負うこと、またこれを内規に追加することが提案され、賛成多数で承認された。

III-11. 衛星設計コンテスト諸委員の交代(資料 11、鈴木)

日本天文学会選出の新審査委員として、名古屋大学の田原 讓名誉教授が提案され、賛成多数で承認された。なお、日本天文学会からの選出委員は、梅村雅之、牧島一夫(実行委員)、小高裕和(企画委員)、田原 讓(審査委員)である。

III-12. PASJ 編集委員増員、論文賞、紙版電子化等について(資料 14、長瀧)

現 PASJ 委員の負担を軽減し、分野のバランスもとるために新たに5名の委員(国外2名、国内3名)の増員の提案があった。代議員総会では新委員候補の最新の CV を提出してもらうこととし、賛成多数で次の代議員総会に諮ることが承認された。

PASJ 論文賞の認知度と関心を高めるために、授賞式と受賞講演を秋季年会に行うこととした。ただし、論文出版時から受賞まで時間が経過していることを考慮

し、受賞論文の内容のみならず、その後の発展や論文の世界的位置付け踏まえて講演して頂くこととした。受賞者には天文月報への寄稿を併せて依頼する。電子版発行以前の1-52巻の論文は20年前にADSの協力を得て電子化されたが、図の解像度が低く、テキスト検索もできないためやや不便である。そのうち、48-52巻については、OUP社が図の解像度が低いなど問題のある部分を再スキャンした上でOCR処理によるテキスト埋め込みを行いウェブサイトに掲載している。1-47巻の電子化作業をやり直すことが提案され、賛成多数で次の代議員総会に諮ることが承認された。

#### IV. 報告

##### IV-1. 移籍・退会等の報告（資料6、伊王野）

2020年3月5日～2020年5月15日までに正→準の移籍申請4名、正会員退会141名、準会員退会70名、団体会員退会1団体があった。また、正会員除籍33名、準会員除籍11名の報告があった。

##### IV-2. 2020年の年会実施について（資料12、酒井）

2020年春季年会（筑波大学）は講演ファイルのウェブ掲載をもって発表成立とし、573件の提出があった。公開講演会は中止とした。また、2020年秋季年会（弘前大学）は、COVID-19の影響を考慮し、オンライン開催となった。オンライン開催の実施方法案の概要が報告された。

##### IV-3. 天文教育委員会からの報告（資料13、富田）

秋季年会においてオンラインの教育フォーラムを検討していることが報告された。また、講師紹介プログラム、監修者紹介プログラム、IAU OAEについての報告がされた。

##### IV-4. 事業担当理事の近況

月報（松田）：コロナ禍に対応して、過去の1年間の記事を一般公開した。特集号が今後続く予定であり、各賞受賞者への記事の依頼が進行中であることが報告された。

PASJ（長瀧）：2021年購読料(PASJ 単独で購読した場合)が決定した。また、特別企画のゲストエディターが選出されたことが報告された。

広報（田村(元)）：年会の記者会見をウェビナーで行うことを検討している。また、前回の年会でキャンセルとなった記者会見は日本天文学会でも引き続き協力する予定であることが報告された。

ネットワーク委員会（田村(陽)）：ホームページのリニューアルが順調に進んでいることが報告された。

庶務（鈴木）：スターリンク記事の英訳が完成し、日本天文学会のトップページからリンクされていることが報告された。

会計（鹿野）：特になし

ジュニアセッション（山村）：春季年会で発表予定であったポスターはウェブで公開する方針だったが、学校が休校のためポスターが集まっておらず、公開開始を遅らせていることが報告された。

IV-5. 事務所の近況報告：

2020年度科研費が採択されているが、COVID-19の影響で辞退した。感染に注意しながら事務所運営していることが報告された。

[資料リスト]

資料1 理事会出欠表

資料2-1 公益社団法人日本天文学会理事会（2020年3月16日）議事録（案）

資料2-2 公益社団法人日本天文学会理事会（電磁的決議）議事録

資料3 公益社団法人日本天文学会 2019年度監査報告書

資料4 公益社団法人日本天文学会 2019年度事業報告書

資料5 公益社団法人日本天文学会 2019年度決算書類

資料6 加入者の承認。移籍の承認・報告、退会の報告

資料7 2020年度会費の納入期限延期について

資料8 学生正会員の2020年度会費免除について

資料9 天文学振興財団との協賛に関する覚書について

資料10 委員会等からの議題

資料11 日本天文学会からの衛星設計コンテスト諸委員の交代

資料12 2020年の年会について

資料13 天文教育委員会より、前回理事会(2020年3月16日)以降の活動報告

資料14 PASJ 編集委員会からの議題と報告

2020年5月23日

会 長：梅村 雅之 印

副会長：田村 元秀 印

副会長：寺田(馬場) 彩 印

監 事：大石 雅寿 印

監 事：関井 隆 印